第21回美馬市文化祭を開催

「第21回美馬市文化祭～伝統を受け継ぎ、令和から未来へ　文化のおりなすまち～」（美馬市文化祭実行委員会主催）を、11月1日から7日まで開催しました。開会式や講演会、芸術作品の展示、学習活動の発表、芸能発表会等、多彩な催しに多くの人々が訪れ、美馬市の芸術と文化に親しみました。

株式会社GHIBLI代表取締役の坪内知佳さんを招いた講演会が開かれ、「ファーストペンギン！～夢を実現するチカラ～」と題した講演が行われました。参加者は、真剣な面持ちで、時折笑顔で耳を傾けていました。

芸術作品の展示では、生花、書道、絵画、写真、手工芸品のほか、市内の小中学生による力作が会場を彩りました。また、「地産地消美馬の農林産物フェア」や茶会も開催され、多くの来場者で賑わいを見せました。

学習活動の発表では、江原中学校と貞光中学校の合同吹奏楽部による演奏が行われ、日頃の練習の成果を大いに発揮しました。迫力ある軽快な音色で会場を盛り上げました。

吉野川環境整備組合汚泥再生処理センター完成

美馬市とつるぎ町のし尿や浄化槽汚泥を処理する吉野川環境整備組合は、1988年建設と老朽化した「吉野川浄園」に代わり「汚泥再生処理センター」を整備し10月1日から本格稼働を行っています。

13日には組合管理者である市長等27人が出席し落成式を開催し、完成を祝いました。また、近隣住民を対象に施設内を見学説明する内覧会を行いました。

同施設は、1日43キロリットル（一般的なお風呂215杯分）のし尿や浄化槽汚泥を処理できます。

穴吹小学校５年生の児童がコエグロ作りを体験しました

10月21日、穴吹小学校５年生の児童が、世界農業遺産に認定されている「にし阿波の傾斜地農耕システム」について学ぶため、穴吹町渕名地区でコエグロ作りを体験しました。また、地元で取れた野菜等をトッピングしたピザ作りも行い、実りある現地体験学習となりました。参加した児童からは「コエグロ作りのカヤを束ねる作業が一番難しく、傾斜地での作業でとても疲れたが、非常にいい経験ができて楽しかった。」といった感想があがりました。

三頭ふれあいの森づくり　開催

11月15日、「第26回三頭ふれあいの森づくり」が開催されました。このイベントは、森林を保育し回復させながら豊かな森を育てる楽しさや、木の大切さを伝えることを目的として、三頭山ふれあいの森で毎年実施しています。

晴天に恵まれ陽光に紅葉が輝くなか、市内外からボランティア60人の方の参加があり、イロハモミジの植樹をおこない森づくり活動を行いました。また作業後は、かづらリースづくりの体験等を行い、地元名産のそば・おにぎり等もふるまわれ、交流を深めました。

ジェロントロジーワークショップ「人生100年時代のライフ考～世代間交流で気づく・学ぶ～」　開催

10月17日、ジェロントロジーワークショップを開催し、脇町高校生やジェロントロジー市民アンバサダー32名が参加しました。

（一財）日本総合研究所の研究員から「人生100年時代」の基礎知識である「ジェロントロジー」について学んだ後、人生をどう生きるか考えることができる「もしバナゲーム」を通じて交流し、各世代が思う大切にしたいものや互いの価値観に触れました。最後に「人生100年時代」における幸福についてそれぞれの思いを交わしました。

参加した高校生からは「異なる世代の方々の日常や経験から、将来のことを考えることができ、日常に活かしていきたい」、アンバサダーからは「高校生の素晴らしい考えや活動を知り、自身の新たな活力になった」といった感想がありました。

穴吹高校でも10月31日に同様のワークショップを実施しました。実施の様子は広報みまテレビで放送しました。

※ジェロントロジーとは、「人生100年時代」を生き抜くために必要な知識や知恵を様々な分野から幅広く学び生かす学問です。

自衛官募集相談員委嘱式

10月16日、美馬市役所で自衛官募集相談員委嘱式が行われました。自衛官募集相談員とは、自衛隊が行う自衛官募集や広報について、情報提供や相談役を担い、地域と自衛隊の架け橋として活動いただく方のことです。任期は２年間で、自衛隊徳島地方協力本部長と加美市長から委嘱状が交付されました。

相談員：小司　都裕さん（写真右から３番目）
　　髙本　進さん（写真右から２番目）

明治安田生命保険相互会社寄附金　贈呈

10月30日、明治安田生命保険相互会社様から「私の地元応援募金」として寄附金をいただききました。

寄附金は、子育て支援等に関する施策に使わさせていただきます。ありがとうございました。

宝くじ助成事業でコミュニティ活動に必要な備品が整備されました

コミュニティ助成事業は、宝くじの受託事業収入を財源として、一般財団法人自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業のひとつです。高齢者等が安心して自治会活動に参加できるよう、次の１０自治会の集会所に座椅子、座卓テーブルの整備を行いました。今後さらに活発な自治会活動が行われ、地域の交流拠点となることが期待されます。

【助成事業対象自治会】

・谷口自治会　・中野（美馬）自治会
・宮北自治会　・上野自治会
・中上自治会　・井川自治会
・藤宇自治会　・井口自治会
・梶山自治会　・尾山（穴吹）自治会

地域おこし通信

地域おこし協力隊　竹中　紘登

テレワーク促進施設［］&Work（アンドワーク）を拠点に、地域おこし協力隊として活動しています。

［］&Workでは、仕事や勉強といった用途だけではなく、地域の皆さまの交流や学びの場となるようなイベント開催等、さまざまな活動を行っています。新たな取り組みとして、吉野川市にあるコワーキングスペースKi-Daさんと連携し、相互利用を促進する「お試し2拠点ワーク週間」といったキャンペーンを実施しました。

さまざまな活動を行ってきた中で、特に印象に残っている活動があります。自分自身も登壇した「美馬市100人会議」です。同じく地域おこし協力隊の仲間や、市内外で活躍されている事業者の方々がそれぞれの熱い「想い」を語られ、参加者の皆さんは和気藹々としつつも真剣な眼差しで話に耳を傾けていました。参加者の方からは「新しい発見があった」「美馬エリアの方と会える貴重な機会」といった嬉しいお声をいただき、私自身も今後人前で発表する上で大変勉強になる、非常に有意義な時間となりました。今後も、利用者同士の交流を促し、新たなつながりを生むことを目的とした「ボードゲームイベント」を定期的に開催していくほか、1月には最終回となる「美馬市100人会議」を開催予定です。ぜひ一度お気軽にお立ち寄りください。皆様のお越しを心よりお待ちしています。

公式LINEアカウントを開設しました

［］&Workの公式ラインを開設しています。キャンペーンや［］&Workで行うイベント等の情報配信のほか、予約やお問い合わせができますので、ぜひご登録ください。